

指定管理者評価シート

所 管 課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課
評価対象期間	平成23年4月1日～24年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	知的障害者通所授産施設「小戸作業指導所」
	所在地	兵庫県川西市小戸3丁目12番10号
	設置目的	18歳以上の知的障害者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うことを業務とする。
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所在地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容		<p>指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1) 18歳以上の知的障害者であって雇用されることが困難なものを通所させて、授産、作業指導、生活指導等を行うこと。</p> <p>(2) 施設の利用の承諾、その取消し、その他福祉センターの利用に関すること。</p> <p>(3) 施設の利用料の徴収及び免除に関すること。</p> <p>(4) 施設及び付属設備の維持管理に関すること。</p> <p>(5) 施設の開館時間及び休館日の変更に関すること。</p> <p>(6) そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>
指定期間		平成21年 4月 1日～24年 3月31日

2 評価結果

小戸作業指導所

評価項目及び評価のポイント	評価レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	B		
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	B		
事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	B	利用者の状況に即した個別支援計画を作成することは重要である。	平均工賃の増や利用者個々人の状況に応じた支援、運営が行われている。
利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	B		
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	C		
[改善項目]		工賃の増額と安定化が望まれる。	バリアフリー化の推進が必要である。
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	1名の利用者を雇用に結びつけたことは大きな成果である。	施設の目的に沿って運営されており、定員に対し、利用契約者も増の状況にある。
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B		
[改善項目]		今後も雇用に結び付けるよう努力が望まれる。	雇用者が1名あり、今後も雇用者が増えるよう努力していくことが望まれる。

(3) 利用者の満足度		B		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	B	利用者の意向の把握、個別支援計画の作成は、利用者にとって最善のサービス提供のために重要であり、週1回のケース検討会議の実施はモニタリングという意味で、利用者の状況に応じたサービス提供を可能にしていく。		利用者の個別面談、アンケート調査等の実施による個別支援計画の策定等利用者の満足度を高める努力が行われている。
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	B			
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	B			
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	C			
[改善項目]		利用者のさまざまな状況に応じた個別支援計画の作成。		今後の利用者支援のため、よりきめ細かな個別支援計画の作成が望まれる。
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】		B		
(1) 経費の節減		B		
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B	効率的な経費節減に努めている。		正規職員の比率の削減等、効率的な経費節減に努めている。
指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	B			
[改善項目]		適正な人的配置が必要である。		経費節減に伴い、利用者の重度化への対応、サービスの質の向上が望めない状況であり、検討を要する事項である。
(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価		B		
収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B	収入を増加するための努力はなされている。		夏季・年末年始の休業日の短縮の実施による、収入増加の努力は行われている。
[改善項目]		平成24年から、サービス体系が、生活介護、就労継続支援B型となるが、利用者の出席率の増を図っていく。		日常的な出席率の向上が望まれる。
(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価		B		
収支のバランスが適切であったか。	B	収支のバランスについて適切に図られている。		収支のバランスについて適切に図られている。
経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	B			
収支の内容に不適切な点はなかったか。	B			
[改善項目]		新体系サービス、生活介護・就労継続支援B型サービスへの円滑な移行。		新体系サービス、生活介護・就労継続支援B型サービスへの円滑な移行を行うこと。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	B		
(1) 管理運営の実施状況	B		
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	C	現行職員体制で、施設の管理運営に努力している。	現行職員体制で、施設の管理運営に努力している。
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	B		
施設の維持管理が適切に行われたか。	B		
指定管理者の提案による新たな取り組みは実施されたか。	C		
[改善項目]		職員の適正な配置と、施設の順次的な改修。	職員の適正な配置が望まれる。

(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など		
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	B	年次的な、消火・通報・避難訓練が行われている。
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	B	
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	B	
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	B	
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	B	
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。		
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A	消火・通報・避難訓練を適正に実施している。
[改善項目]		職員の適正な配置と、施設の順次的な改修。
		施設老朽化、正規職員比率の削減によるリスク回避が必要である。
総合評価		
評価ランク	B	<p>[所見] 施設の管理運営に、適切な人員配置が必要。</p> <p>[改善項目] 職員の適正な配置と、施設の順次的な改修。</p>
		<p>[所見] 利用者の重度化、施設の老朽化、職員体制のリスク管理が必要である。</p> <p>[改善項目] 安全管理者は、組織全体のリスクを把握し、改善策を検討していくべきである。</p>